

ドッジボールニュース

Vol. 5

2016.03

このドッジボールニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。



熱いぞ!
ドッジボール

巻き起こせ、新しい旋風。 ビーチ&ストリートドッジ

本年2月、設立25周年を迎えた日本ドッジボール協会は、さらなる普及に向けて新たな取り組みを進めています。まずは、5月に開催される「ODAIBAビーチスポーツフェスティバル2016」への参加。そして、9月あるいは10月に、青森県弘前市土手商店街で開催するストリートドッジへの協力です。以下にその概要をご紹介します。なお、両イベントの詳細は、逐次ホームページで発表しますので、ご参照ください。また、ビーチドッジボールの全国開催を目指す京極努理事長は、2月10日、鳥取県の平井伸治知事を表敬訪問しました。

1 ODAIBA ビーチスポーツフェスティバル2016

本フェスティバルは、ビーチバレーボールやウェイクボードなどおなじみのビーチスポーツはもちろん、テニスやハンドボール、サッカー、相撲といった競技も含む、ビーチ&マリンスポーツの総合大会です(主催:特定非営利法人日本ビーチ文化振興協会)。

●大会概要

日 時:5月5日(木・祝)
会 場:お台場海浜公園おだいばビーチ
内 容:ビーチドッジ体験教室、ミニ大会
主 催:特定非営利法人日本ビーチ文化進行協会
参加資格:なし



大会が開催されるおだいばビーチ

2 日本初の商店街ストリートドッジ

弘前市土手町商店街の歩行者天国の開催に合わせ、路上にドッジボールの特設フィールドを設置。地域や企業、学校などさまざまなグループに参加を呼び掛け、ミニ大会を開催する日本初の商店街ストリートドッジです。ドッジボールの普及と地域おこし・商店街の活性化を兼ね備えたモデルイベントを目指します。

●大会概要

日 時:9月18日(日)または10月9日(日)※現在未定
会 場:弘前市土手町
内 容:ミニ大会
主 催:弘前下土手町商店街振興組合、他



大会が開催されるカルチャーロード

3 全国各地でビーチドッジボールを!

アジアでは海浜を利用したスポーツ競技会が広がりを見せており、2014年にはタイ・プuketで第4回アジアビーチゲームズが、2016年には第1回ワールドビーチゲームズの開催も決定しています。こうした中、海浜を利用したビーチドッジボール競技を新たに興し、全国各地で普及を進めたいと考える京極理事長は、鳥取県の平井知事を表敬訪問し、学校や学童保育でのドッジボール教室の開催、子どもが参加する各種イベントでのドッジボール大会開催、さらに鳥取砂丘を生かした「すなばドッジ」の実現などを知事にアピールしました。



日本最大級の砂丘・鳥取砂丘



日本ビーチ文化振興協会の朝日健太郎理事長(右)と京極努理事長



大会開催に向け協力される関係者の皆さん



取県平井伸治知事(左)と京極努理事長

[今後の展望]

ビーチ&ストリートドッジの実現に向け、関係者との協議を自ら進めてきた京極理事長は、ドッジボールの将来像についてこう語っています。「従来の競技ドッジについては引き続き強化していきます。一方、底辺を広げるには誰もが気軽にドッジボールを楽しめる環境を整えることが重要です。そのきっかけとして、ビーチと商店街でのミニ大会を企画しましたが、既存概念にとらわれず柔軟な発想でドッジボールのシーンを描くことが、普及を加速させるポイントだと考えています」

ドッジの伝道師、日本代表選手が行く!

JDBAでは、従来の「おやこドッジすくうる」に加え、2014年度より、日本代表選手を講師として小学校に派遣するプログラムを始めています。これら「SMILEドッジスクール」の他、さまざまなプロジェクトからの要請に応え、代表選手が日本各地に赴いてドッジボール教室を開催。今回は、講師を務めた代表選手の皆さんに教室開催の手応えについて伺いました。

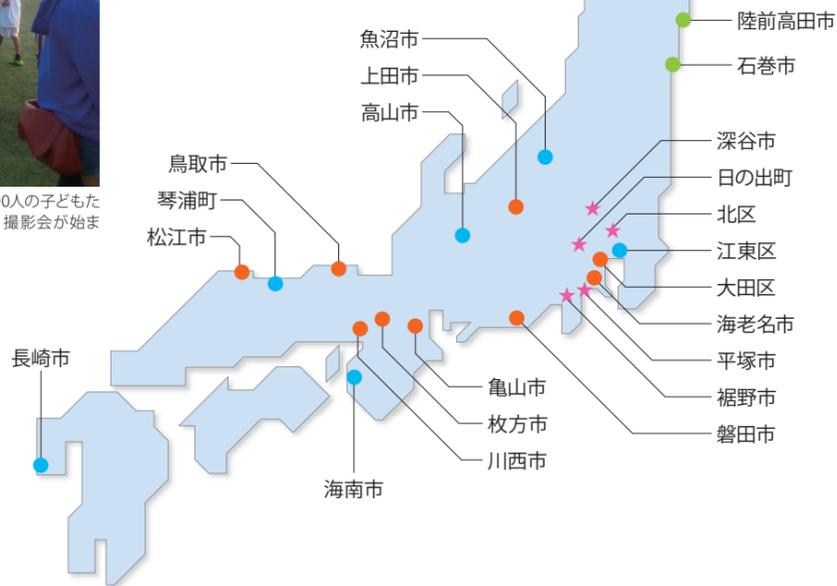


裾野市東地区オヤジの会のドッジボール教室



東京都北区で行われるスポーツ祭りでは、約100人の子どもたちの指導を行い、終了後には自然とサイン会・撮影会が始まります

主な派遣先
2014年度～2015年度



注目度が高い日本代表事業

●SMILEドッジスクール

JDBAがスポーツ振興くじ助成事業として開催しているプログラム。「おやこドッジすくうる」と、2014年スタートでドッジボール日本代表選手を講師に派遣する教室の2本立て。

●スミセイアフタースクールプロジェクト「Let's play ドッジボール！」

「学童保育」や「放課後子ども教室」をより楽しく子どもたちが成長できる場所とすることを目的し、住友生命保険相互会社が助成し、特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクールが運営主催するプロジェクトの一つ。

●ニャフーネット募金妖怪ウォッチきっず応援プロジェクト

妖怪ウォッチとヤフー株式会社、放課後NPOアフタースクールなどが連携し、東日本大震災の被災地の子どもたちを応援するプロジェクト。

●そらまめキッズツアー「日本代表選手から教わる!! 本格ドッジボール特訓ツアー」

小中学生を対象に体験型ツアーを提供する「そらまめキッズアドベンチャー」のプログラムの一つ。

- SMILEドッジスクール (日本代表選手派遣プログラム)
- スミセイアフタースクールプロジェクト
- ニャフーネット募金妖怪ウォッチきっず応援プロジェクト
- ★ その他



日本代表だからこそ負うべき使命

吉田隼也さん
日本代表監督 兼 日本代表選手

「人見知りだった子が、あの日から積極的になり、昼休みに友達を誘ってドッジボールをするようになりました」。大阪・枚方市で開催されたSMILEドッジスクールから数カ月後、保護者の方からそんな声が寄せられました。また、静岡県裾野市東地区では、オヤジの会の皆さんとのドッジボール教室が契機となり、JDBAの公式ルールでの小学生ドッジボール選手権の開催が決定。このように、教室を通じて具体的な成果が生まれ、何ものにも変えがたい喜びを感じます。私たち日本代表は、競技者として技術を高めることはもちろん、多くの方にプレーを見ていただき、ドッジボールの伝道師にならなくてはならないと、日々身の引き締まる思いです。



代表選手のプレーが“憧れ”をつくる

江藤章雄さん
男子日本代表選手

平塚市立横内小学校で開催されたドッジボール教室で、同じ神奈川県出身の本館卓真選手と一緒に講師を務めました。450名もの児童を相手にしたので、正直言って疲れましたが、子どもたちの笑顔を見ると本当に良かったです。子どもたちも、最初は「この人、誰?」という感じでしたが、最後には目を輝かせて、サインをねだってきました。ドッジボールはメディアでの露出が少ないだけに、目の前でプレーを見られる機会は貴重ですし、ここから「憧れ」といった感情も生まれてくるのではないのでしょうか。今回は指導というより、プレー中にアドバイスする形でしたが、時間配分や役割の振り分けが今後の課題ですね。

※本教室は、朝日新聞の販売店「ASA平塚豊田店」の地域貢献事業として開催されました。



子どもの心に何を残せるかが僕の課題

小松裕也さん
男子日本代表選手

ニャフーネット募金妖怪ウォッチきっず応援プロジェクトで、東日本大震災の被災地(陸前高田市、石巻市)を訪問。行く前は、繊細な子どもたちの心を傷つけてはいけないと心配しましたが、現地の子供たちは元気いっぱい。僕の方がパワーをもらったぐらいです。日本代表として各地を回る中で心掛けていたのは、子どもたちの憧れとなれるような人間性や立ち居振る舞い。さらに、背景やニーズが異なる地域で、自分は何を伝えられるのかということ。何か一つでも子どもたちの心に残すことを、自分自身の課題としてきました。単なる技術指導ではなく、実際のプレーを通してなら、それができるのではないかと思います。



ボールへの怖さを取り除いてあげる

本館卓真さん
男子日本代表選手

横内小学校を訪問しましたが、ここは地域でのドッジボール大会や全校生徒でクラス対抗なども行っており、ドッジボールの盛んな学校だと感じました。そして、今回の活動であらためて気付いたのは、ドッジボールが苦手な子どもたちもいるということ。まずは、ボールに対する恐怖心を除いてあげることから始めなければ、と実感しました。でも、一緒にプレーすることで「日本代表選手と一緒にやったんだ」という思い出が残るし、その経験を他に伝えてくれるなら、彼らこそ「ドッジの伝道師」になるんじゃないかとひそかに期待しています。



はだしの小学生に元気をもらった!

岩田晴世さん
女子日本代表選手

スミセイアフタースクールや東京都日の出町立平井小学校でのドッジボール教室に参加しました。指導する上で難しかったのは、気持ちが高ぶって動き出してしまふ子をなだめたり、逆にみんなの輪に入っていけない子の背中を押してあげることですね。平井小学校では先生や保護者の方も参加されましたし、代表選手への質問コーナーがあったのも印象に残っています。また、スミセイアフタースクールで行った沖縄では、はだしで駆け回る小学生に、私元気もらいました。このような活動ができるのも、多くの方々の支えがあるからこそ。感謝の気持ちを忘れず、これからも普及活動に取り組んでいきたいと思っています。

代表選手の派遣が火を付けたドッジボール熱



小田圭介さん
裾野市東地区オヤジの会・裾野市市議会議員

昨年の7月に来ていただきましたが、プレーを見て「スゴイ!」と思いました。われわれスタッフや参加した子どもたちだけでなく、会場まで子どもたちを送ってきた保護者の方々も皆同じ印象を持ちました。ドッジボールってこんなに迫力があるんだ、熱いんだって…。それで、その日のうちに、自分たちでドッジボールの大会をやろうということになり、11月に6名編成の12チームで第1回裾野市東地区ドッジボール選手権を開催。その延長で、この3月には、裾野市全域を対象に5~6年生を対象とした選手権を開催します。いやあ、ドッジボールってスゴイです。

得意な子も、苦手な子もみんなドッジボールが好きになる



押塚岳大さん
特定非営利活動法人 放課後NPOアフタースクール

ドッジボールはとても人気のあるプログラムです。日本代表選手が教えてくれるというのが大きな魅力のようで、全国から数多くの申し込みがあります。選手の皆さんも教え方がうまく、「逃げるだけでもいいんだよ」というひとことで、苦手意識のある子もプレーの輪に。女子の参加が増えたのも、そんなアドバイスが功を奏しているのでしょう。代表選手のプレーを目の当たりにして、ますますドッジボールが好きになる子どもも大勢います。ただ、派遣を希望されても、日程の調整などでお受けできないこともあり、その辺が残念なところですね。

選手権結果

第2回全日本女子総合選手権

第2回全日本女子総合選手権が2015年12月12日13日の2日間、岐阜県の岐阜メモリアルセンターで愛ふれ愛ドームで行われました。

研修も行われるこの大会では、トークセッションに元ビーチバレーボール選手の浅尾美和さんをお招きし、「競技の練習だけではなく勉強は大事。特に英語を話せない選手間のコミュニケーションも図れないし、審判にルールの確認もできない」といった世界で活躍するための話や「チーム内でどんなことが課題なのかを選手同士で話し合うことは大切。選手全員が高い目標を共有していれば、言いたくないことも言わ

なければならない場面が出てくる。信頼関係を保つためにも『言う側の責任』と『言われる側の受け入れの心』を大切に」というチームワークの話などを伺いました。

また、日本代表との練習会では、各チームが代表選手とコミュニケーションを取り合いながら競技会に向けた調整を行いました。

13日に行われた競技会では、前日の日本代表練習会で最も元気よく練習を行っていたMITO GIRLS D・Bが勢いそのままにD-1Gカテゴリーの頂点に、そしてシニア女子の部では、日本代表女子キャプテンの井上潤香さんが率いるの一てんきが念願の優勝を果たしました。



D-1Gの部優勝 MITO GIRLS D-B



シニア女子の部優勝の一てんき

第25回春の全国小学生ドッジボール選手権全国大会

今年度最後の全国大会となる第25回春の全国小学生ドッジボール選手権全国大会が、2016年2月21日、東京体育館で開催され、3000名を超えるドッジボールファンにご来場いただきました。

大会は、夏の王者サザン'97が1セットも落とさぬ貴録の試合運びで夏春連続優勝の偉業を達成しました。

また、この大会では香港ドッジボール協会より2チームをお招きし、親善試合が行われました。



サザン'97

ミズノ株式会社は、日本ドッジボール協会及びドッジボール日本代表を応援します。

日本代表着用予定
アウターデザイン

ドッジボール日本代表
応援Tシャツ(案)

最終デザインや仕様が多少変更になる可能性があります。

JDBA インフォメーション 協会からのお知らせ

■新年度登録・更新のお知らせ

4月1日よりJDBAメンバー(資格保有者)の更新期間が始まります。更新期間は5月31日までです。それ以降は資格失効となってしまい、JDBAメンバーサイトから登録情報が削除になってしまいますので、ご注意ください。D-1、D-1Gチームに関しては年度ごとの新規登録になっています。4月1日時点で2015年度の情報は削除になりますので、改めてご登録手続きをお願いいたします。

■2016年度事業情報

【全国大会】

2016年8月14日 第26回全日本ドッジボール選手権全国大会 さいたま市記念総合体育館
2016年10月16日 2016J.D.B.A.全日本選手権 静岡県草薙総合運動場このなアリーナ
2016年12月10・11日 第3回全日本女子総合選手権 ヤマト市民体育館前橋
2017年3月26日 第26回春の全国小学生ドッジボール選手権全国大会 北九州メディアドーム
または北九州市立総合体育館

【SMILEドッジスクール】

2016年5月15日 三萩野体育館(北九州市)、2016年5月29日 出水市総合体育館(鹿児島県)、2016年6月5日 白河市中央体育館(福島県)、2016年7月10日 河西体育センター(青森県)
※SMILEドッジスクールはドッジボール普及を目的とした事業のため、競技ドッジボールを行っているお子様は参加できませんので、ご了承ください。

【公認指導者養成講習会・集合学習④】

2016年度中は3ブロックで開催予定(準指導員<区分I>資格保有者の多いブロックを中心として、現在調整中)詳細が決まり次第、公式サイトにお知らせを掲載します。
※集合学習①と③は都道府県協会主催、集合学習②は各ブロック主催事業です。

【日本代表派遣事業】

2016年11月25～28日 第3回アジアカップ日本代表選手派遣(香港)

■日本代表候補セレクション

2016年はアジアカップ開催のため、13歳以上のメンバーを対象とした日本代表候補のセレクションを実施します。1次審査の申込みは3月末が締め切りとなっていますので、希望者は公式サイトより早急に手続きを行ってください。

■日体協公認ドッジボール指導員

2016年度より日本体育協会公認ドッジボール指導員の制度が導入されることとなりました。2015年度中にJDBA公認準指導員<区分II>資格を取得された方には、手続きの方法が分かり次第、情報をお知らせいたします。

一般財団法人日本ドッジボール協会

http://www.dodgeball.or.jp

〒105-0004 東京都港区新橋6-4-3 ル・グラシエルBLDG.7-405

TEL.03-5776-1830 FAX.03-5776-1840



このドッジボールニュースは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。